

要約

サステナ ビリティ レポート 2025

サステナブルに価値を生み出す

VATは、2024年にサステナビリティ戦略を発表した後、この1年、サステナブルに価値を生み出す取り組みを継続しました。当社の全拠点、特にマレーシアとルーマニアにおける多大な努力により、スコープ1および2の排出をさらに削減しました。さらに、SBTiにGHG削減の短期目標を提出し、全スコープにわたる環境への影響の軽減に向けた熱意を裏付けました。毎日VATのために質の高い仕事をする社員を大切にすることは、当社にとって不可欠です。これは、戦略的レベルでは、新しい人権方針の実施を通じて、また、運用上では、休業災害（LTA）の大幅な削減により示されています。また、社内プロセスを強化し、製造拠点で新たにISO 45001認証を取得しました。

目次 ➔

目次：戦略とガバナンス

サステナビリティに関する注目点	4
当社の事業	5
サステナビリティ戦略	7
サステナビリティの目標	9
サステナビリティに関する取り組みの管理	12

サステナビリティに関する注目点

会長およびCEOの声明については、サステナビリティレポート完全版の4～7ページをご覧ください。

サステナビリティに関する評価の向上

VATの評価は、主要な評価において向上し、EcoVadisではシルバーメダルを獲得し、S&P CSAスコアにおいても業界の上位25%に入りました。また、MSCIではAAA評価を維持しつつ、CDPからB評価を受けました。

その他のマネジメントシステム認証

VATにとって、明確で信頼性の高いプロセスは、製品の製造方法だけでなく、事業の運営方法においても不可欠です。2025年には、長年にわたり取得していたISO 9001および14001認証を拡大し、本部と生産拠点においては、ISO 45001（労働安全衛生）認証およびISO 27001（情報セキュリティ）認証も取得しました。

排出削減

GHG排出強度（スコープ1および2）を、2024年と比較して15%削減しました。これは、再生可能エネルギーが2023年の63%から2025年の89%に増加したことで密接に関連しています。VATは、2027年までに再生可能エネルギーの割合を90%以上に引き上げるという目標に向かって順調に進んでいます。

サステナブルな建築物の認証

2025年、VATは、ルーマニアのアラドにおいて、新工場の建設を完了しました。この建築物は、BREEAMのOutstanding認証を取得しました。マレーシアのペナンの拠点も、LEEDのゴールド認証を取得した1B新工場の開設により拡大しました。また、この建築物は、ペナングリーンカウンシルよりペナングリーンオフィスプロジェクト認証を受賞しました。

正当な賃金への取り組み

当社は、スイスのFair-ON-Payが監査を行い、最高認証のFair-ON-Pay Advanced認証を取得しました。これは今後4年間有効です。Fair-ON-Payは、職場における男女間の同一賃金を確認し、この基準を満たしたVATを認証しました。また、EUの賃金透明化法への準備のため、ルーマニアでも同様の分析を行いました。

詳細は、サステナビリティレポートの8～10ページをご覧ください。

当社の事業

私たちVATは、半導体や太陽光電池、デジタルディスプレイ、その他の先端工業用途および研究用途向けの様々な製品の製造に使用される、高度な真空バルブを提供する世界的リーディングサプライヤーで、バルブ部門（半導体事業部門と先端工業事業部門）とグローバルサービス部門の2つの部門で構成されています。

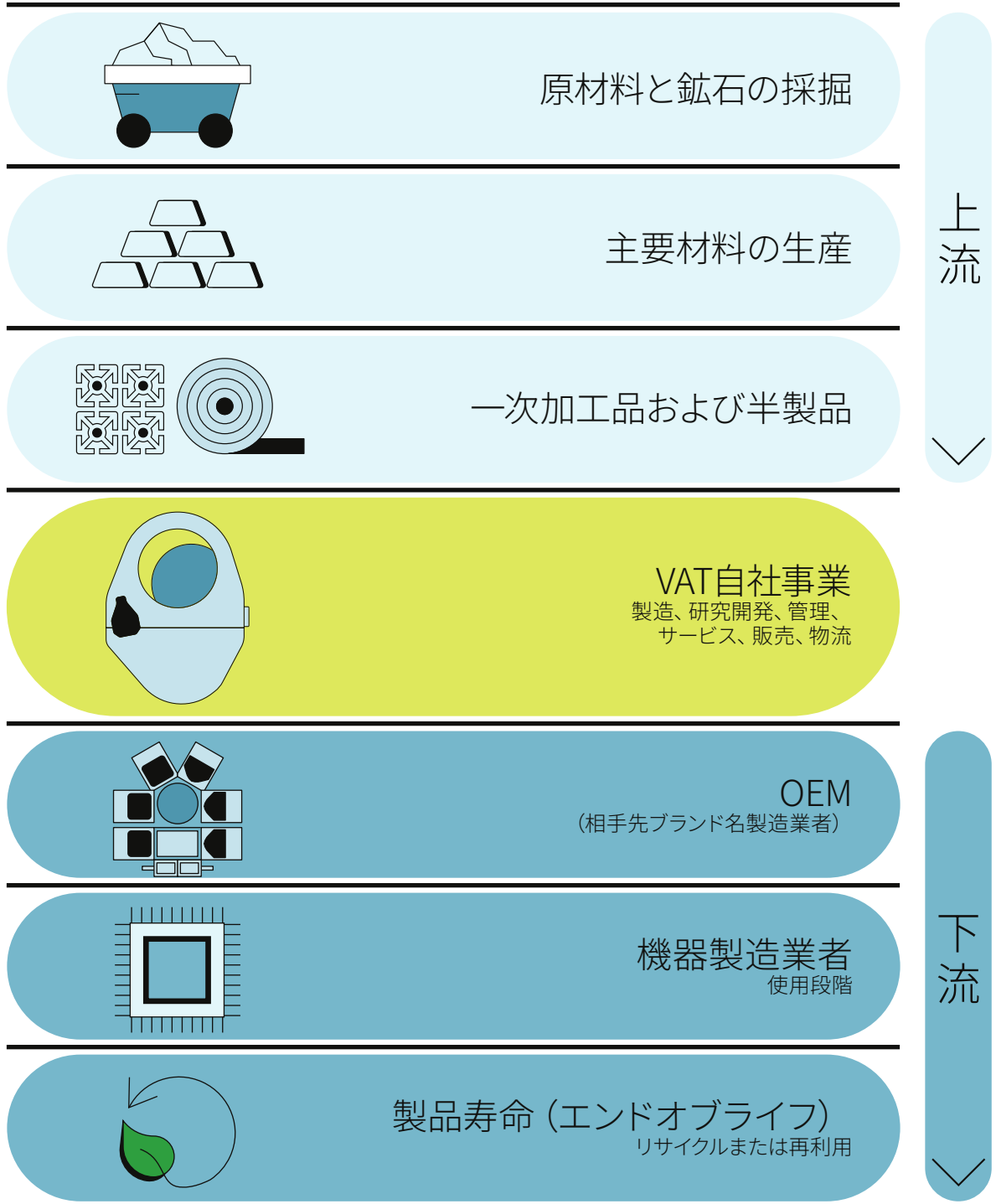
社員数は約3,000人で、スイスに本部を置き、マレーシアとルーマニアに製造拠点が 있습니다。また、米国、欧州（フランス、ドイツ、オランダ、英国）、アジア（中国、日本、シンガポール、韓国、台湾）に販売・流通拠点が 있습니다。当社の大口顧客の多くは主要な生産拠点をアジアに置いていますが、欧州と米国が重要な拠点であることに変わりありません。お客様の近くに拠点を置くことで、輸送コストとそれに伴う環境への影響を抑え、顧客関係や市場シェアの拡大につなげています。

成長を牽引する世界的メガトレンド

デジタル化はVATにとって最も重要な動向の一つです。高性能で強力なチップの需要が高まるなか、新たな製造ツールへの投資も増加し、その結果、真空バルブの需要も生じています。また、人工知能 (AI) を利用した新たな用途が登場していることも、高性能半導体に対する需要拡大につながっています。それと同時に、ノードサイズが3ナノメートル以下の、これまで以上に強力でエネルギー効率の高いチップの設計には、必然的にプロセスステップの増加や製造純度の向上が求められ、プロセスチャンバー内での時間も長くなります。その他にも、太陽光発電パネル、電気自動車、原子力発電施設の製造プロセスや、将来の核融合発電の研究など、再生可能エネルギー分野の発展もVATの成長を後押ししています。

当社の事業の詳細は、サステナビリティレポートの11~13ページをご覧ください。

バリューチェーン



サステナビリティ戦略

真空バルブのトップメーカーであるVATは、自社製品の品質や性能だけでなく、私たちが環境や社会へもたらす影響への責任の重要性を理解しています。それは、当社に直接関係する影響であることもあれば、当社のバリューチェーンに間接的に関係する影響であることもあります。リスクに対処するために時代に敏感であり続けることは、VATが掲げるサステナビリティ戦略のもう一つの重要な側面です。それと同時に、サステナビリティは価値創造、革新、成長のための重要な戦略的機会であると私たちは考えます。そして最後に、サステナビリティはVATの企業文化に合致する概念であり、VATを特徴付ける4つの情熱、すなわち誠実さ、チームワーク、顧客中心主義、イノベーションとして体现されています。

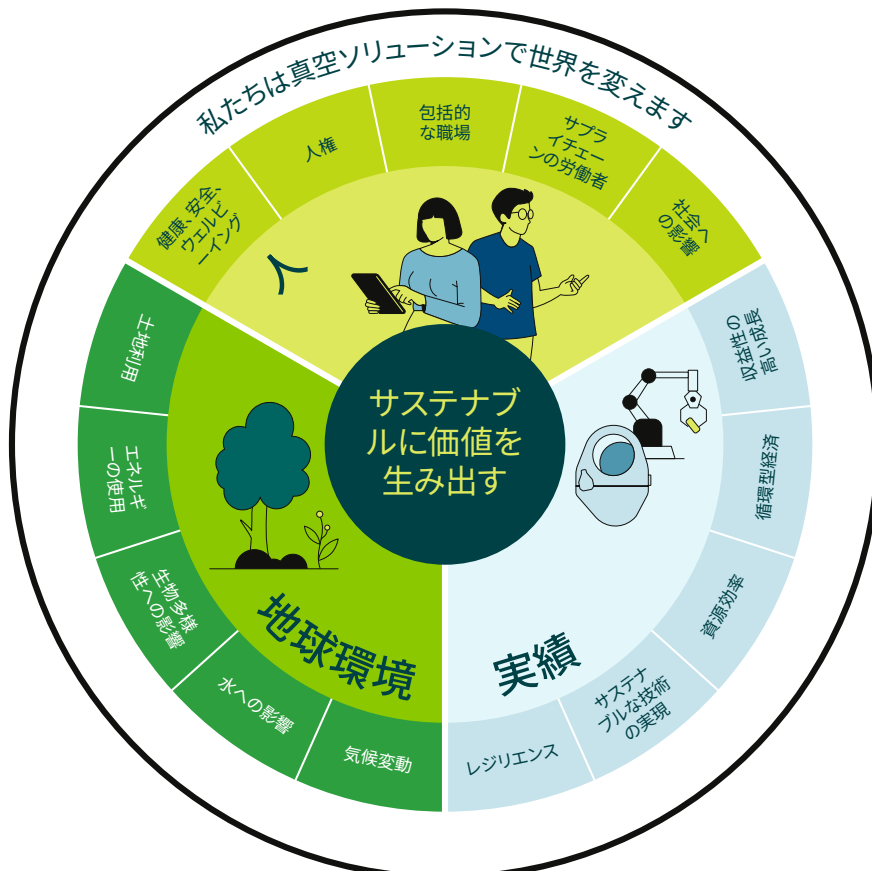
境は環境的側面、そして実績は経済的側面を表しています。これらの分野に取り組むことで、VATの財務実績とレジリエンスも強固になります。

マテリアリティ評価

2025年、VATは、ステークホルダーにとって最も重要なマテリアル課題をより理解し、最新のCSRD およびESRSに基づく戦略的優先事項を作成するため、ダブルマテリアリティ評価を更新しました。お客様、ステークホルダー、投資家、社内専門家、社員と関わり合うことで、浮上した16の重要課題を特定しました。

当社にとって2025年は、人、地球環境、実績という3つの重要な柱を中心に構築されたサステナビリティフレームワークを継続した一年でした。人は社会的側面、地球環

ダブルマテリアリティ評価の詳細は、サステナビリティレポートの16～17ページをご覧ください。



マテリアリティマトリックス

VATにとって重要なサステナビリティの課題の影響および財務的関連性 (DMA 2025)

- 環境的
- 社会的
- ガバナンス

財務的マテリアリティ (アウトサイド・イン)	<ul style="list-style-type: none"> ● データセキュリティ、知的財産 (IP) 保護、サイバーセキュリティ <p>財務的マテリアリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 温室効果ガス排出 ● サプライチェーンの管理、材料と資源の使用 ● エネルギーの使用 ● 循環型の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ● 社員のエンゲージメントと育成 ● 安全衛生パフォーマンスおよびウェルビーイング ● バリューチェーンの労働者 ● 多様性と機会均等 <ul style="list-style-type: none"> ● サステナビリティ戦略の統合 ● コーポレートガバナンスの取り組み <p>財務的およびインパクト・マテリアリティ</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● 生物多様性と生態系 ● 海洋資源 ● 最終消費者 <p>非重要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 汚染 ● 廃棄物管理 ● 水管理 <ul style="list-style-type: none"> ● 地域コミュニティとコミュニティエンゲージメント <p>インパクト・マテリアリティ</p>

インパクト・マテリアリティ (インサイド・アウト)

サステナビリティの目標

人

分野	目標	現在の値	状況
健康、安全、ウェルビーイング			
	2026年までに事故発生率 ¹ を10未満に維持する	4.9	順調に進行中
		2025年までにISO 45001 (労働安全衛生) マネジメントシステムを構築する	認証完了
			
人権			
	すべてのVAT製造拠点で人権リスクアセスメントを実施する	継続中	順調に進行中
	社員の95%以上を対象に、人権に関するトレーニングを実施する	100%	達成済み
包括的な職場			
	新入社員に占める女性の割合を2027年までに24%、2030年までに25%に引き上げる	23%	順調に進行中
	役職に占める女性の割合を2027年までに25%に引き上げる	16%	再検討中
サプライチェーンの労働者			
	2025年にサプライチェーンのRBAアセスメントをサプライヤーの80% (支出額換算) で実施する	90%	順調に進行中
	2025年までに少なくとも90%、2026年には100%のサプライヤーがVATのサプライヤー行動規範に署名する	89%	残存
社会への影響			
	2029年までに社員の30%が、VATが主催または支援する社会活動に参加する	23%	順調に進行中
			

1 労働災害による休業事故 (LTA) /1,000人当たり

実績

分野	目標	現在の値	状況
収益性の高い成長			
 	2025年末までに売上の20%について、サステナビリティと循環性に関する製品固有の情報を顧客に提供する	>20%	達成済み
循環型経済			
	長寿命化と製品循環性の促進により、2029年までにVATのサービス提供の価値を向上させる	継続中	順調に進行中
資源効率			
 	2025年までにVATの全製造拠点における金属スクラップのリサイクル率を100%に引き上げる	100%	達成済み
サステナブルな技術の実現			
 	2029年までに、研究開発を進歩させて、サステナブルな技術におけるソートリーダーシップを確保する	継続中	順調に進行中
レジリエンス			
 	2025年までにサステナビリティに関するリスクの緩和計画を策定し、グループ全体のリスク管理プロセスで管理する	グループリスク管理に含まれる	達成済み
	2025年までに95%以上の社員がサイバーセキュリティトレーニングを修了する	98%	達成済み
	不正行為の確認件数をゼロに維持する	0	達成済み
	2025年までに、報告された内部告発の100%を調査し解決する	100%	達成済み

地球環境

分野	目標	現在の値	状況
気候変動			
  	2025年までにスコープ1と2の排出量を50%削減する (2022年比)	-81%	達成済み
	2033年までにスコープ3の排出量をSBTiに従って削減する (2023年比)	SBTi目標を提出	順調に進行中
水への影響			
 	2025年までに各VAT製造拠点で水ストレス評価 ¹ を実施する	評価を完了	達成済み
エネルギーの使用			
 	2027年までに、VATで消費される再生可能エネルギーの割合を90%以上に引き上げる	89%	順調に進行中

1 水ストレス評価は、個々のサイトが水資源に依存し、または水資源に与える潜在的な影響に基づいて、運営上のリスクを評価することを目的としています

サステナビリティに関する取り組みの管理

VATの全社的なサステナビリティの取り組みは、取締役会に新設されたサステナビリティ委員会の主導の下で進められます。また、すべての関連部門を横断的に、かつ全グループレベルでサステナビリティの課題に取り組む常勤の専任リソースの育成に投資しています。

取締役会

VATが展開する事業の最終的な方向性と、VATの経営を委託されたグループ執行委員会（GEC）の監督は取締役会に委ねられています。

取締役会のサステナビリティ委員会

取締役会のメンバーを含む専任サステナビリティ委員会は、グループ執行委員会と緊密に協力しながら、サステナビリティ戦略の実行を監視し、進めます。サステナビリティ委員会は、VATにおけるサステナビリティに関するあらゆる事柄について指針を示し、監督する責任があります。

グループ執行委員会

CEOは、コンプライアンス部門から日常的に支援を受けながら、責任ある業務遂行を監督する最終的な責任があります。一方、サステナビリティの責任はCFOに委ねられています。グループ執行委員会に支払われる変動型の短期インセンティブは、当社のサステナビリティ業績などによって決まります。

グループのサステナビリティ

運営面では、サステナビリティの取り組みはCFO直属のグループサステナビリティチームの管理の下、サプライチェーンチームを含むVAT社内の各地域・各部門の専門家の協力を得ながら進められています。グループのサステナビリティチームは、各部門と連携し、重要タスクを管理し、サステナビリティに関する意識とトレーニングを推進します。

部門別のサステナビリティおよびEHSチーム（グローバル）

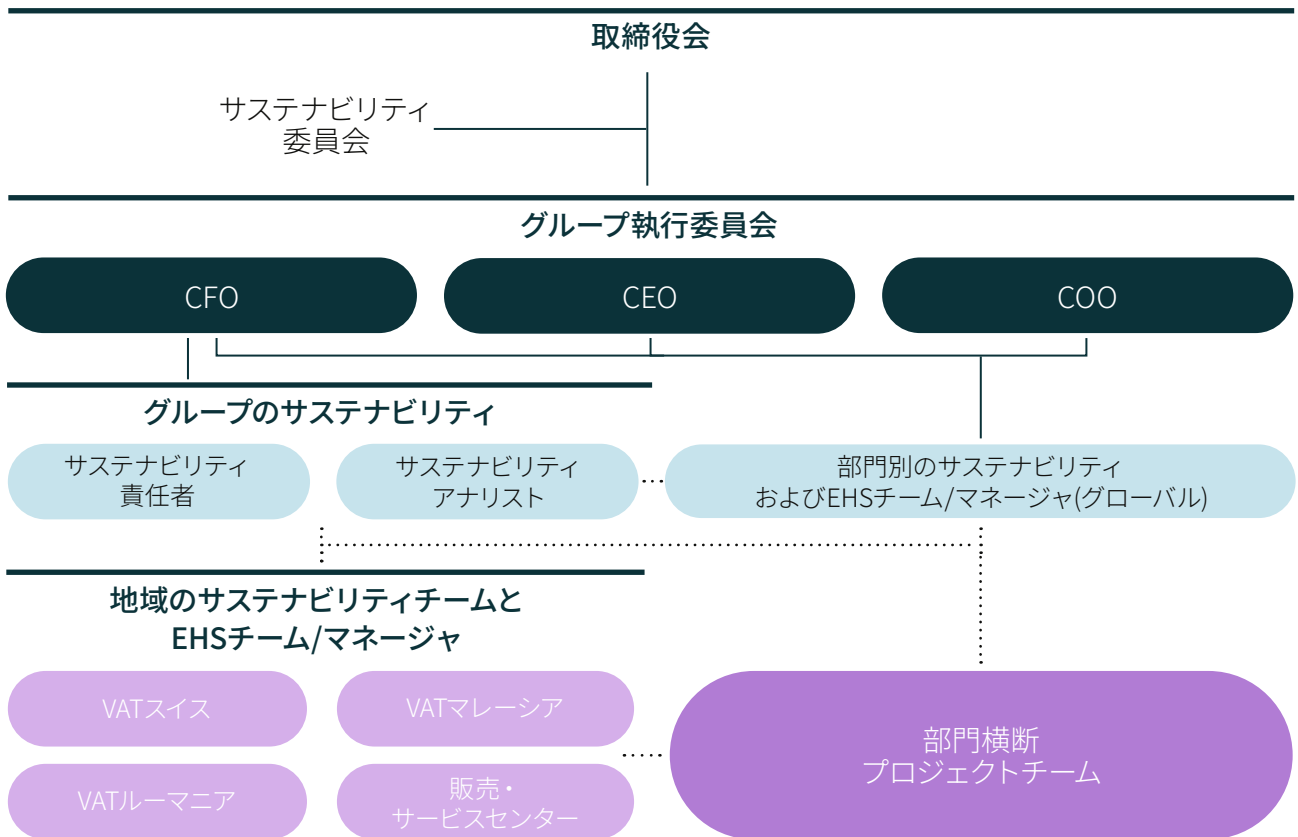
サプライチェーンを対象としたサステナビリティチームは、社会的責任、環境活動、倫理的な業務遂行、および気候変動に関連する排出削減の観点から当社の期待と規制要件を満たすよう、VATのサプライチェーンに働きかけます。それに対して環境・衛生・安全（EHS）チームは、啓蒙活動を企画し、業務管理の手順を徹底し、方針を定めることで安全文化を推進します。

地域のサステナビリティチームとEHSチーム

サステナビリティに関する事柄、特に環境・衛生・安全プロセスに関する地域ごとの責任は、各国の組織内の専任のリソースに委ねられています。一方、サステナビリティのビジョン全体の裏付けとなる具体的な成果を達成する役割として、プロジェクトチームが設置されています。

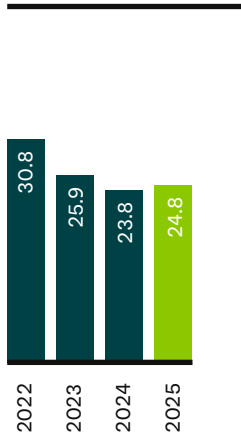
当社のガバナンス体制の詳細は、サステナビリティレポートの82～85ページをご覧ください。

組織図 (2026年3月3日現在)



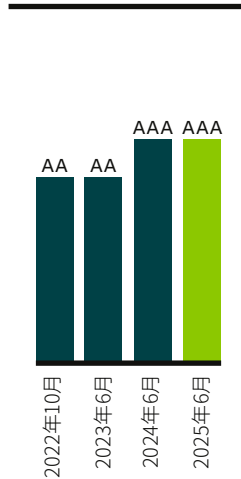
サステナビリティに関する評価とメンバーシップ

サステナリティクス



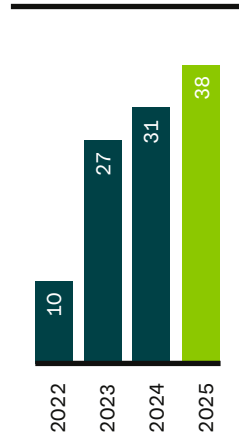
リスク評価：
ごくわずか (0-10)
低 (10-20)
中 (20-30)
高 (30-40)
重大 (40以上)

MSCI



CCCからAAAまでの格付け

S&P Global



(100点満点)

CDP



情報開示 (D/D-)
認識 (C/C-)
マネジメント (B/B-)
リーダーシップ (A/A-)

EcoVadis



評価対象会社の上位 8%

業界団体への参加



Semiはマイクロエレクトロニクス分野で主導的役割を果たしている業界団体で、会員企業の事業成長に向けた支援だけでなく、業界が世界的に抱える課題への取り組みも支援しています。



SwissMEMは、スイスのテクノロジー産業における中小企業と大企業が参加する業界団体です。



半導体気候関連コンソーシアム (SCC) は2022年に設立されたアライアンスで、気候変動問題に焦点を当てるとともに、加盟企業の事業やバリューチェーンの他の部分で温室効果ガス排出を削減するための業界の取り組みを加速させることを目的としています。VATはこの目的に賛同し、SCCの設立メンバー企業として参加することを決定しました。



RBAは、自社のサプライチェーンにおいて社会的、環境的、倫理的慣行の改善に取り組む企業が参加する、業界をリードするイニシアチブです。

SBTi

SBTiは、パリ協定に従って地球温暖化を抑制することを目指し、気候科学と足並みをそろえた温室効果ガス (GHG) 排出削減目標を設定する企業を支援する、世界的に認められたイニシアチブです。

事実および数字 →

人	16
地球環境	18
実績	20
ガバナンス	22

人

VATにおいて、人材こそが、当社の成功の理由です。社員の才能、献身、適応能力が当社のイノベーションを推進し、お客様やサプライヤーとの関係を強化しています。社員が、支えられていると感じ、成長できるように、トレーニング、安全性、正当な賃金、健全なワークライフバランスに投資しています。社員が成長すると、当社も成長し、将来の有能な人材を引き寄せる力もさらに強化されます。社員の明確で注意深いライフサイクルにおいて、VATへの入社から退職までのあらゆる段階で、有意義な経験を提供し、各社員が最高の仕事をできるように支援をします。

健康、安全、ウェルビーイング

VATは、あらゆる種類の労働災害や職業病の防止に努めています。それに伴い、休業災害 (LTA) /1,000フルタイム当量 (FTE) の指標も大幅に低下し、2025年の目標である10人未満を無事に達成しました。

2025年には継続的改善プログラム (CIP) を通じて史上最多の提案がチームから提出されました。薬品の保管の改善、リサイクルの改善、PPEの入手の改善、エタノールの取り扱い、避難地図の更新など、多くのアイデアが実施されました。サステナビリティ関連のアイデアを強調するようにCIPツールも改善されました。プログラムの成功は、社員がいかに積極的で、健康、安全、サステナビリティにいかに関心を持っているかを示しています。

人権

VATは、国際人権章典、ILOの原則、国連グローバル・コンパクト、国連指導原則、OECDガイドライン、RBA行動規範に従い、国際的に認められた人権尊重に取り組んでいます。人権は、社員のウェルビーイングを保護し、規制順守を確保し、グローバルサプライチェーンにおける信頼を強化するため、あらゆる方針やプロセスに組み込まれています。全社員が、VAT入社時に、人権に関する必須トレーニングを修了します。また、最新の労働・人権方針では、強制労働、差別の禁止、結社の自由、児童労働の防止、若者労働者の保護、公平な労働条件について取り扱っています。VATは、誠実さ、透明性、説明責任を持って運営され、定期的に拠点を監査し、ステークホルダーに匿名の報告ツールを提供しています。これは、当社の事業から影響を受けるすべての人に対する責任と、サステナブルで倫理的な事業の実践への取り組みを反映するものです。2025年、VATは、最新の規制および社内要件を反映するため、人権方針を更新しました。

サプライチェーンの労働者

さらに、VATは、人権の保護、公正な労働慣行、責任ある調達に取り組んでいます。当社の行動規範とサプライヤーの行動規範は、当社で共に働くすべての人に明確な期待を定めており、倫理、環境責任、安全な労働条件、人権において高い基準を確保しています。また、当社は、サプライヤーに対し、紛争鉱物などの忠実で責任ある調達の慣行に従うことを求めています。責任ある鉱物調達イニシアチブ (RMI) への加盟により、OECDガイドライン

	2025	2024	2023
死亡事故件数	0	0	0
休業災害件数	15	38	32
休業災害による損失日数	308	560	517
休業災害あたりの平均損失日数	21	15	16
休業災害/1,000人当たり (正社員換算) (率) 1	4.9	12.9	13.4
休業災害発生率/100万時間当たり (率) 2	2.5	7.1	6.4
記録可能な業務上の健康障害の件数	0	0	0
データカバー率 (対象社員に占める割合)	95%以上	95%以上	95%以上

1 LTA: 休業災害

2 LTIFR: 休業災害頻度率

に基づくデューデリジェンスを支援しています。2025年末までに、グローバルサプライヤーの89%（支出額換算）が正式にこれらの基準を承認し、サプライチェーン全体での強い連携を示しています。

インクルーシブな職場環境

2025年の新規雇用では22.9%が女性であることを誇り、2027年までに24%、2030年までに25%の目標を達成するように取り組み続けています。2025年に、指導的地位に占める女性の割合を16%に引き上げました（2024年：14%）。ジェンダーの多様性を越えて文化的にも豊かなVATの職場には、50カ国以上の国籍の社員が働いています。VATの社員構成を国籍別に見ると、上位4カ国はマレーシア（29.6%）、スイス（13.7%）、オーストラリア（12.7%）、ルーマニア（12.0%）となっています。

より多様な人材を引き寄せるために、VATは大学と連携し、インターンプログラムへの女性の参加を増やし、正社員への転換を成功させています。マレーシアでは、行動面談トレーニングを導入し、採用スキルの向上、偏見の解消、公正な採用決定を促進しています。

社会への影響

スイスの中規模企業としてのルーツに忠実に、VATは、工場の門を越えても責任を果たし、社会へ良い影響となる優秀な企業市民として機能したいと考えています。この取り組みは、教育プログラムや社外社会活動、後援事業など、さまざまな取り組みで実証されています。2025年には500人以上のVAT社員が社会貢献活動に参加しました。あらゆる部門の社員が集まり、社会貢献活動に関わっているという事実は、私たちの情熱である誠実さとチームワークの明確な証拠です。2025年、VATは、ザンクト・ガレン州と協力し、ハーグの拠点で、新しいモビリティコンセプトを導入し、よりサステナブルで便利な通勤方法を社員に提供しました。このコンセプトは、日々の通勤をより容易にして、周辺コミュニティへのアクセスを向上させるだけでなく、社員がより環境に優しい移動を選択するよう促進します。

詳細は、当社のサステナビリティレポート（28～51ページ）をご覧ください。

	正社員	パートタイム社員	有期雇用社員
欧州	1,712	134	52
うちスイス	1,323	132	52
うちルーマニア	367	0	0
アジア	1,165	0	25
うちマレーシア	938	0	20
その他の地域	72	0	0
小計	2,949	134	77
2025年の正社員とパートタイム社員の合計	3,083		
2024年の正社員とパートタイム社員の合計	2,949		

地球環境

私たちが最優先課題として取り組んでいるのは、最も重要な側面において、気候変動リスクを軽減し、さらにVATが環境に与える影響も軽減する対策を実施することです。そのために、気候変動を抑制するために、当社の拠点だけでなく、バリューチェーン全体でもGHG排出（温室効果ガス）強度を低減することを第一の環境目標に掲げています。さらに、水やエネルギー、土地など、資源の使用効率を高める努力も続けています。

気候変動

2025年、VATは、環境への影響を最小限に抑えるという熱意をより反映させるため、企業の環境方針を更新しました。これには、事業に伴うリスクへ

の対応、環境工学分野における将来技術の開発支援、および全スコープにわたるGHG排出の削減という当社の取り組みが含まれています。これらの目標を実現するため、VATはすでに具体的な手段を講じており、再生可能エネルギーの利用を拡大した結果、現在では電力の98%が、現場に設置された太陽光発電パネルによって支えられたグリーンエネルギー源から供給されています。また、当社は最新のエネルギー効率に優れた認証済み建築物にも投資し、全体的なエネルギー使用を削減し、排出の削減に役立っています。

単位：t-CO ₂ e	2025	2024	2023
スコープ1	1,622	1,476 ¹	1,061
スコープ2（市場ベース）	850	1,106	6,351
スコープ3	384,341	458,815 ²	375,973 ²
スコープ1、2、3の総GHG排出量	386,813	461,397	383,384

1 2024年のスコープ1の公表値を、データの入手可能性の向上を反映して、1,449トンから計算値を修正
2 2023年および2024年の上流/下流排出量の配分を修正するため、カテゴリ3.4および3.9を調整。

単位：CO ₂ eトン/純売上高（百万スイスフラン）	2025	2024	2023
純売上高	1,073.5	942.2	885.3
スコープ1および2（市場ベース）の排出強度	2.30	2.74	8.37
総GHG排出強度（スコープ1、2、3）	360.32	489.70	433.06

単位：CO ₂ eトン/受注高（百万スイスフラン）	2025	2024	2023
受注高	1,033.0	1,033.3	691.9
スコープ1および2（市場ベース）の強度	2.39	2.50	10.71
総GHG排出強度（スコープ1、2、3）	374.46	446.53	554.10

水への影響

水は、VATの業務、特に、高純度が求められるクリーニング、すすぎ、冷却プロセスにおいて不可欠です。規制が厳しくなり、水不足の懸念が大きくなる中、VATは水の使用を注意深く監視し、すべての廃水が厳しい環境基準に従って処理されるようにしています。2025年の水評価により、当社の拠点は水ストレスが低～中程度の地域にあるものの、水質と廃水処理が最も重大なリスクであることが確認されました。

こうした課題に対処するため、VATはスイスとマレーシアに閉ループ水システムを設置したり、マレーシアの冷却塔で逆浸透（RO）濃縮水を再利用したりするなど、具体策を導入しています。これらの手順は、淡水需要を削減し、効率を向上させ、VATの責任ある水管理への長期的取り組みを支援しています。

エネルギーの使用

VATは、スコープ1および2排出の削減を重視しています。当社が直接的な影響を与える可能性のある分野であるためです。VATは、独自のクリーンエネルギーの生産を増やすことで、エネルギーコストの安定を維持し、予測不能な市場価格の影響を軽減することができます。2025年までに、VATの電力生産における再生可能エネルギーは89%に達し、現在では電力の98%を再生可能エネルギーから調達しており、5,000 kWp以上の太陽光発電設備がこれを支えています。こうして、VATはルーマニアとマレーシアにおいて、グリーンエネルギーを調達し、エネルギー効率の高い建築物を実現しており、両拠点とも自社でのエネルギー生産により20%以上のエネルギー自給率を達成しています。

詳細は、当社のサステナビリティレポート（52～64ページ）をご覧ください。

単位：キロワット時 (kWh)	2025	2024	2023
スイス	21,415,888	20,494,087	17,216,478
ルーマニア	4,720,952	3,757,690	3,779,620
マレーシア	26,603,774	17,017,696	15,491,943
総エネルギー消費量 - 生産拠点	52,740,613	41,269,472	36,488,041

	2025	2024	2023
収益 (百万スイスフラン)	1,073.5	942.2	885.3
エネルギー消費量 (kWh) / 収益 (百万スイスフラン)	49,129	43,801	41,215

実績

VATは、環境と人への配慮は、効率の向上と事業の継続的な成功と密接な関係があると信じています。私たちは資源効率、循環性、サステナブルなイノベーションのメリットを活用し、価値の創造と事業の成長を続けていくことを目指しています。また、製品設計の早い段階からサステナビリティの基準を取り入れることで、お客様に優れたソリューションを提供し、ビジネスチャンスを生み出す努力を続けています。

収益性の高い成長

VATは、政治的、規制上の期待が絶え間なく変化している中、真の進展を推進するためには、単に規則に従うだけでは不十分であると考えています。当社にとって、サステナビリティは、戦略的優先事項であり、長期的に、より効率的で回復力があり、コスト効率の高い事業の構築を支援するものです。

2024年に作成した2つの環境製品宣言に基づき、2025年には、05.3トランスファーバルブのライフサイクルアセスメント (LCA) を実施することで、当社の製品の環境への影響の理解を深めました。社内外の専門家と連携し、バルブ寿命のあら

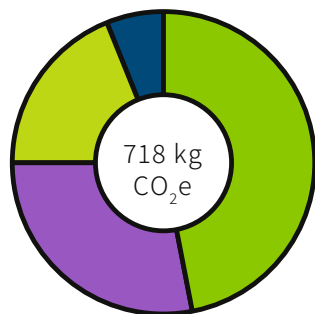
ゆる段階を検討しました。原材料から使用済み製品 (リサイクル) や廃棄まで。現在、VATは、3つのバルブについて、環境に関する詳細な方針があります。バルブ10.8、バルブ65.3、バルブ05.3。

循環型経済と資源効率

VATは、廃棄物の削減、リサイクルの向上、責任ある方法での材料の処分に努めています。アルミニウムバルブは、長持ちし、リサイクルできるため、当社の成長に伴い、埋め立て廃棄物を防ぐための現場の努力を継続しています。循環型設計や、よりスマートな包装は、コストの削減にもつながり、修理や製造などの機会を生み出します。

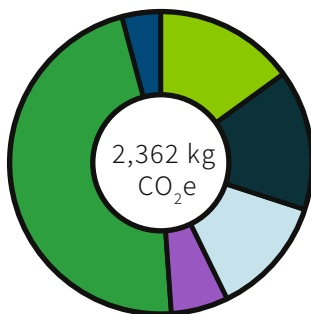
2025年、マレーシアの新設のPlant 1Bでリサイクルプログラムが始まりました。紙、段ボール、プラスチック、発泡スチロールなどのリサイクル可能品を、リサイクル不可能品から分別することで、廃棄物の大部分が埋立処分から回避できます。また、VATは、スイスで廃棄物の安全かつ適切な廃棄を確保するため、生産エリアに指定の回収コンテナを配置するという新たな廃棄コンセプトを導入しました。

10.8ゲートバルブ



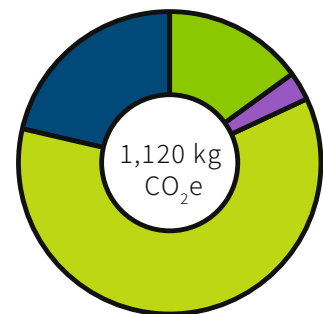
- 47% 原材料
- 28% 顧客への輸送
- 19% 交換品
- 6% その他¹

65.3コントロールバルブ



- 15% 原材料
- 15% 製造業者への輸送
- 13% 製造
- 6% 顧客への輸送
- 47% 運用上の使用
- 4% その他¹

05.3トランスファーバルブ



- 15% 原材料
- 3% 顧客への輸送
- 60% 交換品
- 4% その他¹

¹ 製造業者への輸送、製造、運用上の使用を含む

持続可能な（サステナブルな）テクノロジーの推進

高純度真空の生成と維持において、VATは技術的リーダーであり、地球規模の気候変動や天然資源の枯渇といった重大な課題に対処するために必要な多くの製品やプロセスの作成において、極めて重要な存在です。多くの場合、真空バルブは、最新スマートグリッドでのエネルギー貯蔵や電気自動車の運転、様々な工業プロセスにおけるエネルギー資源効率の大幅な改善に必要な半導体の製造などにおいて、間接的な役割を担っています。

情報セキュリティ

デジタルリスクが高まる中、VATにとって、情報セキュリティはますます重要になっています。当社は、専任サイバーセキュリティチーム、第三者によるリスクチェック、および定期的なシミュレーションによって支えられた、ISO 27001:2022認証を取得したセキュリティシステムを運用しています。また、システムの堅牢性を維持するため、毎年リスクアセスメントを実施しています。2025年には、ITにアクセスできる社員の98%がセキュリティ研修を修了しており、これは、デジタル世界において安全性と回復力を維持するという当社の取り組みを反映したものです。

詳細は、当社のサステナビリティレポート（65～75ページ）をご覧ください。

	2025	2024	2023
ISO 27001に基づくISMSを取得している運用拠点の割合	100%	100%	100%
情報セキュリティインシデントの確認件数	0	0	0
ITシステムにアクセスできる社員のうち、ITセキュリティトレーニング1を修了した社員の割合1	98%	86%	94%
情報およびサイバーセキュリティのトレーニング時間（男性社員）	2,449	2,877	-
情報およびサイバーセキュリティのトレーニング時間（女性社員）	636	741	-
セキュリティ違反防止のための意識トレーニングに投資した合計時間	3,085	3,618	3,393

1 日常業務の一環として情報システムにアクセスするすべての直接雇用スタッフは、トレーニングの対象です。

単位：トン	2025	2024	2023	前年比
リサイクル/再利用された総廃棄物量	4,135.2	3,960.6	3,019.6	31%
総廃棄物量	735.8	1,249.0	1,513.8	-17%
埋め立て廃棄物量	306.8	320.0	596.5	-46%
エネルギー回収を伴う焼却廃棄物量	429.0	928.9	917.4	1%
エネルギー回収を伴わない焼却廃棄物量	0.0	0.0	0.0	0%
データカバー率（社員に占める割合）	95%以上	95%以上	95%以上	

ガバナンス

VATグループは、信頼性の構築と、責任ある業務遂行のため、強固で透明なガバナンスを維持します。また、社外組織とも連携し、取り組みが行われるように定期的な監査を行います。

組織内でのガバナンスの徹底

行動規範とコンプライアンスホットライン

VATの行動規範は、最高水準の誠実さを守り続けるとともに、公正な競争を徹底し、国内外の法規制を厳格に遵守することを目的としています。これは、VATが、お客様、サプライヤー、投資家、社員、事業を展開するコミュニティ、そして各社員にどのように対応するかについての基礎となるものです。不正行為の報告は、VATのコンプライアンスホットラインを通じて行うことができます。当社は、不正行為を報告した者や調査に協力した者を、差別や報復から保護することを約束します。

VAT管理システム

VATは、コンプライアンスと効率的な運営を確保するため、認証済みの管理システムを維持しています。2025年には、全社員を対象としたISO 9001およびISO 14001の認証を更新し、また、マレーシア、ルーマニア、スイスの主要拠点（スタッフの90%以上）において労働安全衛生に関するISO 45001の認証を取得し、情報セキュリティに関するISO 27001の認証も取得しました。

詳細は、[当社のサステナビリティレポート（76～85ページ）](#)をご覧ください。

お問い合わせ

この報告書は、英語、中国語、日本語、韓国語、ドイツ語、ルーマニア語、およびマレー語で利用可能です。

詳細は、以下の担当者までご連絡ください。

VAT Group AG
T +41 81 771 61 61
vatgroup.com

サステナビリティ
Dominik Schwyter
sustainability@vatgroup.com

将来の見通しに関する記述

本書に記載されている将来の見通しに関する記述は、結果が予想と大幅に異なる可能性のある特定の要因が存在するため、全体が条件付きの内容として記述されています。本書に記載されている記述のうち、過去の事実に関する記述以外のもの（「確信している」、「計画している」、「予測している」、「期待している」、「推定している」、およびこれらに類する表現を含む）は、将来の見通しに関する記述とみなされます。将来の見通しに関する記述には、本質的に既知および未知のリスク、不確実性、および偶発的な要因が含まれます。これは、これらの記述が将来起こり得る出来事に関連していたり、将来起こり得る状況に依存していたりするためであり、実際の結果、実績、または達成度は、このような将来の見通しに関する記述で明示または暗示された内容と実質的に異なる結果となる可能性があります。こうしたリスクや不確実性の多くは、将来の市場状況や為替変動、他の市場参加者の行動、当社の情報技術システムの性能、セキュリティ、信頼性、当社が事業を展開する国で起こる政治的、経済的、または規制に関わる変化、経済的または技術的な動向や状況の変化など、当社が制御できない範囲の要因や、正確に予測できない要因に関連しています。そのため、投資家の皆様におかれましては、こうした将来の見通しに関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

法律で義務付けられている場合を除き、VATは本レポートの日付以降に発生した事態を受けて将来の見通しに関する記述を更新する意図または義務を一切拒否します。

デザイン / レイアウト / 制作
Hilda Ltd.
hilda.ch

Nuovia Ltd.
nuovia.ch

出版プラットフォーム
Management Digital Data AG
mdd.ch

サステナビリティ戦略の実施を継続し、日常業務に定着させ、目標に向けて取り組むこと。これが私たちに課せられた2026年の最優先課題です。VATはステークホルダーの皆様と積極的な関わり合いを続けながら、社内の対話を促進することで、サステナビリティの取り組みを一丸となって前進させていきます。また、社外の人権リスクへの取り組みとして、デューデリジェンスとサプライヤーエンゲージメントの能力を強化していきます。移行計画に従い、製品設計の早期段階で環境基準を組み込みつつ、SBTi目標に向けて取り組み続けます。私たちは環境、社会、財務面の問題にバランスよく対処しながら、サステナブルに価値を生み出し、長期的な成長の促進を目指していきます。

フォーカス 2026